



竹田 努 議員

いっぱん

問 第6次振興計画 目指す目標は何？

答 福祉政策を最も重要と位置付ける 町長



第6次振興計画の策定に向けて
議論を重ねるまちづくり委員会 (12/18)

会の皆様に住民の視点に立った評価を加える作業をお願いしています。実施計画の中では、財源の都合で後年度へローリングした事業が数多くあり、最終年度の来年度は、期限のある新幹線開業を見据えた

質 問 「北の大地の福祉都市きこない」を掲げた第5次木古内町振興計画も、残すところ来年度1年となりました。いろいろな苦難の上、大森町長の思いを集約し、策定した計画だったと思っております。

この間、介護老人保健施設と公営住宅の複合施設や、念願だった国保病院改築等々、「北の大地の福祉都市」にふさわしい施設が整備されました。この9年間の検証評価や達成度、最後の仕上げ

の年度として、目的の年度として、目玉的にぜひやり遂げたい事業等があるのか、町長の考えを伺います。

また、第6次振興計画で目指すものや、何を重点的に考えているのか、町長の見解を伺います。

大森町長 第5次振興計画の検証評価並びに達成度は、庁舎内で各管理職が総合的にまとめ、振興計画全体の総合評価は上から2番目のB評価で、達成度については約70%となっております。

現在、まちづくり委員

① LED防犯灯器具に対する補助率引き上げは、3月にも一般質問しており、なぜ来年度も再検討なのか。

② 水道使用料とごみ処理手数料の来年度に向けた取り組み状況は。

③ 独居老人や身障者等に対する屋根や家屋周辺の除排雪支援対策は。

④ 釜谷生活改善センターの改築は、平成28年度に整備すると明言していますが、年次を早めることは。

大森町長 ① LED防犯灯器具は、現在の水銀灯と比べて寿命が6倍長く、省エネや環境衛生に優れていることは認識しています。

来年度から、最低でも二分の一を目標に補助率の引き上げを実施したいと考えています。

② 水道料金は、人口や世帯数の減少で経営状態は非常に厳しく、減額改定は難しいと考えています。

ごみ処理手数料は、住民負担の軽減を求める意見があり、新年度から改定前の料金で実施したいと考えています。

③ 大雪対策として、生活道路の確保をするため高齢者事業団に委託しています。屋根や家屋周辺の除排雪は、個人の管理であることから事業者の紹介に留め、各家庭にお願いしたいと思っています。

④ 釜谷生活改善センターは、老朽化が進みその都度改修して利用してもらっています。最短で、新幹線関連事業が終了する平成28年度には着手できるように、第6次振興計画で位置付けたいと考えています。

具体的で前向きな回答 町政懇談会を評価

質 問 町政懇談会の内容について再度、町長の考えを伺います。

関連事業を優先的に実施したいと考えています。

第6次振興計画では、福祉政策を最も重要なものと位置付け、一次産業の振興や教育、文化の向上のほか、特に新幹線効果が開業当初より十分に発揮できる施策の展開を図っていききたいと考えています。